

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県 市川町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	市川町文化遺産総合活用推進事業計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
<p>いちかわ教育創造プラン（平成25年策定）を踏まえ、地域の伝統文化・郷土芸能を次世代に伝承する活動を支援するため、下記の取り組みを実施する。また、実施計画期間中は、下記の取り組みを通じて地域全体で伝統文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>地域の伝統文化継承基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具等整備事業 ・後継者養成事業 			
6 実施体制			
<p>本実施計画については、市川町が全体計画・調整・事業の指導を行う 市川町教育委員会 教育課：文化財の取り扱いに関する指導、伝承教室への参加募集事務・発表会に関する調整等 市川町文化センター：伝承教室への会場提供等 また、補助事業は次の団体が実施する。 市川町文化遺産活性化実行委員会 構成団体（市川町教育委員会、①西川辺南区祭り太鼓保存会、②西川辺東区屋台保存会、③鶴居まつり屋台保存会、④南小畑秋祭り保存会、⑤甘地まつり屋台実行委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 64, 141 千円	平成30年度申請額： 7, 509 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に伝わる伝統芸能等を大人が子ども達に伝承し、後継者を育成しながら地域間及び世代間の絆を強め、地域の教育力を高める。 ・屋台等の修理を行うことにより、祭礼行事等が盛り上がるのが期待でき、参観人の増加が見込め地域の活気にも貢献できる。また、子ども達へ伝統文化を継承させる体制づくりが整うことにより、保存会の機運を高め会員増を見込める。 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	市川町伝統文化継承推進助成事業（市川町の伝統芸能や伝統行事に対して助成金を交付し、伝統文化の継承活動を通じて地域の絆づくりを促進する） 町単独事業（上限30万円）		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
予算及び文化財専門員職員の確保が可能であれば、歴史文化基本構想の検討する。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	市川町教育委員会 教育課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	祭礼の参加人数及び参観人の増加			関連事業:	事業①～⑩	
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 470 名 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 530 名					
設定根拠 1 :	少子高齢化により行事参加人数の大幅な見込みは見込めないが、屋台等の修理を行うことにより、現状の参加人数を維持しながら伸び率を1.1倍に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
名	名	名	名	名	名	

事業⑩：	甘地まつり屋台こども教室			実施団体：	甘地まつり屋台実行委員会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度	
事業概要：	泥台修理一式					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	甘地区で行われる秋祭り					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 90 名 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 90 名					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
名	名	名	名	名	名	